

不思議のまち秋葉原探訪



NPO法人
日本文化体験交流塾



電機のまち秋葉原は、マンガやアニメなどの『ポップカルチャー』の情報発信地にもなっており、世界中から旅行者が集まる観光スポットとなっています。秋葉原観光の第1人者の松波道廣氏のお話と、秋葉原に精通したコスプレ・ガイドの永山佳奈さんのまち歩きにより、不思議のまち秋葉原を楽しみます。

◆ 日時 2009年1月23日(金) 10時～16時30分

まち歩きは、1月25日(土)も実施

◆ 内容とスケジュール

① 10時～12時 松波道廣氏のお話

「観光のまち秋葉原」(ちよだプラットフォームスクエア 504 会議室)

戦後の電気街の変化、最近の変化などを説明し、多言語の情報発信や新発見ツアーなど、秋葉原の多面性を観光資源として取り組んでいる秋葉原観光推進協会の活動などをお話します。

(昼食は、各自です)

② 13時30分～16時30分 秋葉原のまち歩き

通訳案内士 永山佳奈ほか、ロボット、アニメ、フィギュア等の各スポットをご案内します。途中、メイド喫茶でゲームなどを体験します。(喫茶代金は、各自です)

申込が多数となりましたので、1月12日13時以降の申込者については、25日(日)13時30分からのまち歩きにより、実施する場合がありますので、ご了承ください。



◆松波道廣氏の紹介

早稲田大学卒業後、ソニー株式会社、ランテクス株式会社代表取締役社長、ラオックスの常務取締役などを歴任。現在は、コンピュータ販売店の社団法人専務理事。以前には外国人向け日本語学校運営の経験も持つ。

2000年前後から秋葉原地域再開発に関連して次々と発足した、プロジェクトや様々な団体や組織で、委員、理事、役員などを兼務。秋葉原や地域振興関係の講演なども多数行う。また、実弟がオーナーを務める、秋葉原駅に隣接する電波会館の喫茶店「古炉奈」では、秋葉原の現在風景写真と50年前の秘蔵写真を対比した企画展示をするなど、時を越えて秋葉原を愛する人物の一人。

◆申し込み方法

受講料 3,500円 (NPO 法人日本文化体験交流塾の会員は、2,800円)

定員 30名先着順(申込が多数となりましたので、1月12日13時以降の申込者については、25日(日)13時30分からのまち歩きにより、実施する場合がありますので、ご了承ください。)

日本文化体験交流塾ホームページ(http://www.ijcee.com/chiiki/chiiki_090123_index.html)からお申込ください。

問合せ先 TEL090-1607-5099、080-3313-1107 メールアドレス info@ijcee.com

◆ ウォーキング・ツアーガイドのお誘い

NPO 日本文化体験交流塾は、Fascinating Japanese Lifestyle Experience という、外国人も参加できる日本文化体験やウォーキングツアーを開始し、ガイドのできる通訳案内士を募集しています。この仕事をしたい方は、NPO 会員であることと、当交流塾が求める日本文化の基本知識を習得していること、該当地域の研修の受講が求められます。

→http://www.ijcee.com/english/english_taiken_walking_tour.html

◆NPO 法人日本文化体験交流塾は、09年から会員割引制度を開始しました。

正会員は、当交流塾の主催する講座・セミナーなどの受講料の20%を割引します。また、正会員は、[講座の申込みをinfo@ijcee.com](mailto:info@ijcee.com)にて、氏名・講座名を明記して、申し込んでください。受講料は、当日徴収します。

◆ 正会員の資格

個人の年会費1万円。入会金 5,000円です。詳細は、日本文化体験交流塾のホームページ <http://www.ijcee.com/aboutus/aboutus.html>をご覧ください。

◆NPO 日本文化体験交流塾の活動説明会の開催

理事長の米原亮三が、NPO 日本文化体験交流塾の活動内容、会員の参加条件などを説明します。(会費 1,000円)

① 1月21日(水) 13時30分～16時 ② 2月4日(水) 18時30分～21時

◆交流塾本部・研修会場へのアクセス

千代田プラットフォームスクエア

千代田区神田錦町3-21 電話 5259-8400

竹橋駅:3B出口より徒歩2分、神保町駅:A9出口より7分

大手町駅:C2出口より8分、

小川町駅:B7出口より8分、

JR 神田駅より 12分

